

3号機 燃料取り出しの状況について

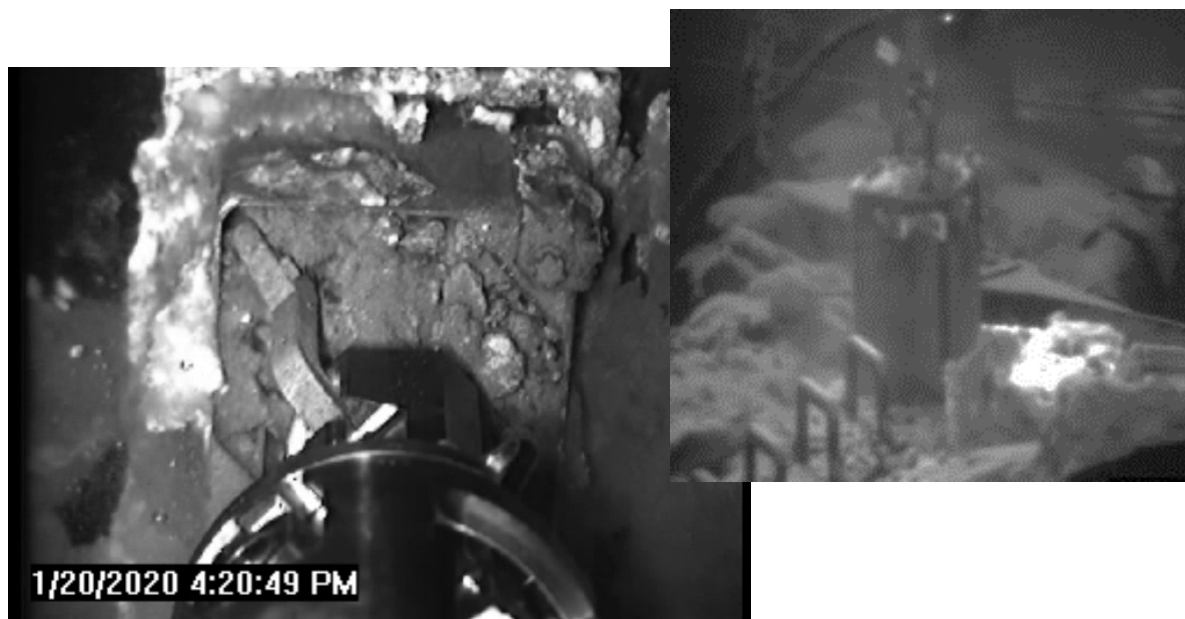
2020年3月27日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 燃料取り出しの状況

- 2020年3月26日時点で、計119体の燃料の取り出しを完了している。
- 2020年3月30日より、法令に基づく3号機のクレーン年次点検を実施予定。併せて、燃料取扱設備の点検(燃料取扱機、換気空調設備等)を実施。また、3号機側の点検と並行して、共用プール燃料取扱設備の点検およびハンドル変形燃料保管のための燃料ラック取替を実施する。
- 3号機での点検実施後、燃料取出しの体制を強化し取り出しの頻度を増やすため、作業員増員のための追加訓練等を実施する。
- 2020年6月より、燃料取出しを再開する予定。



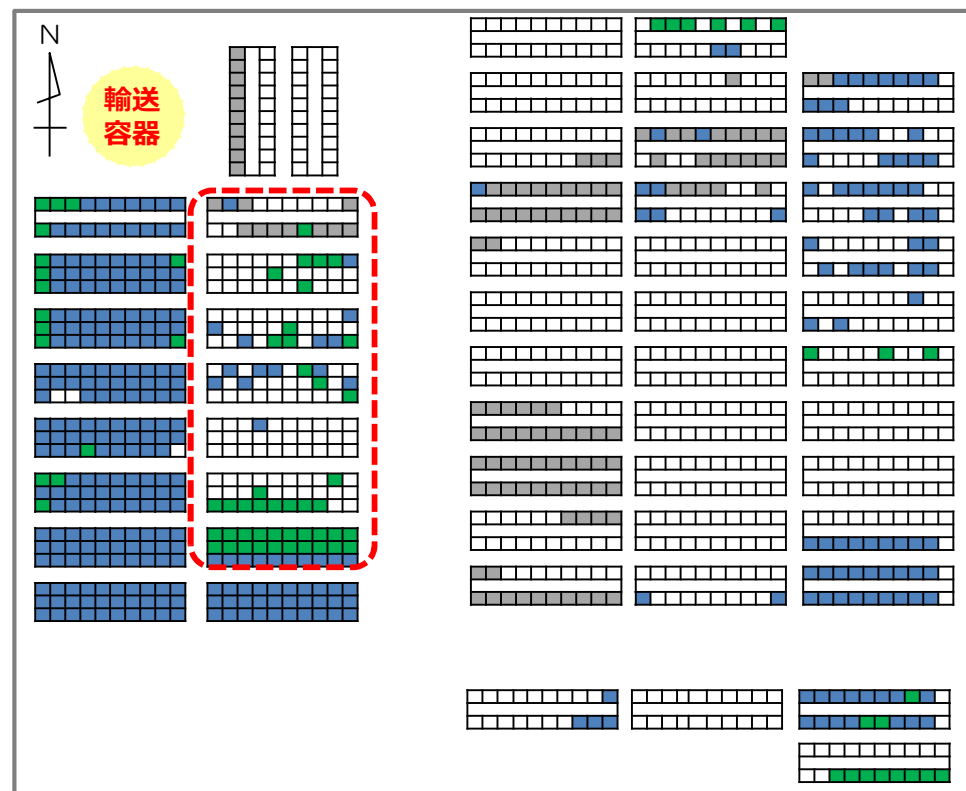
使用済燃料のラックからの取り出し状況



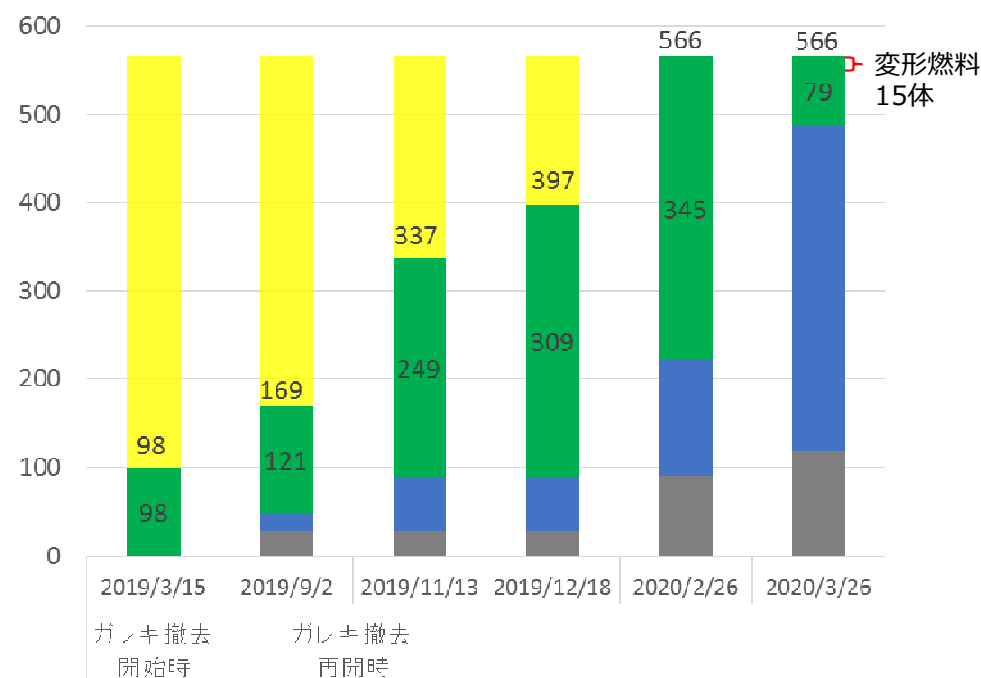
使用済燃料の輸送容器への装填状況

2. ガレキ撤去状況

- 以下に示す通り、燃料上部についてガレキの撤去を進めている。
 - マニピュレータで把持する大きめのガレキ撤去は概ね完了。ガレキ撤去ツール（熊手）による掻き出し及び吸引装置での吸引を中心に撤去を実施中。
 - ハンドル変形の目視確認は全燃料について完了。目視確認が難しい軽微な変形の有無は治具により最終判断するため、ガレキを撤去し、治具での判断後にガレキ撤去完了となる。
 - これまでにハンドル変形を確認した燃料は、15体（前回※から+1体。次頁参照）



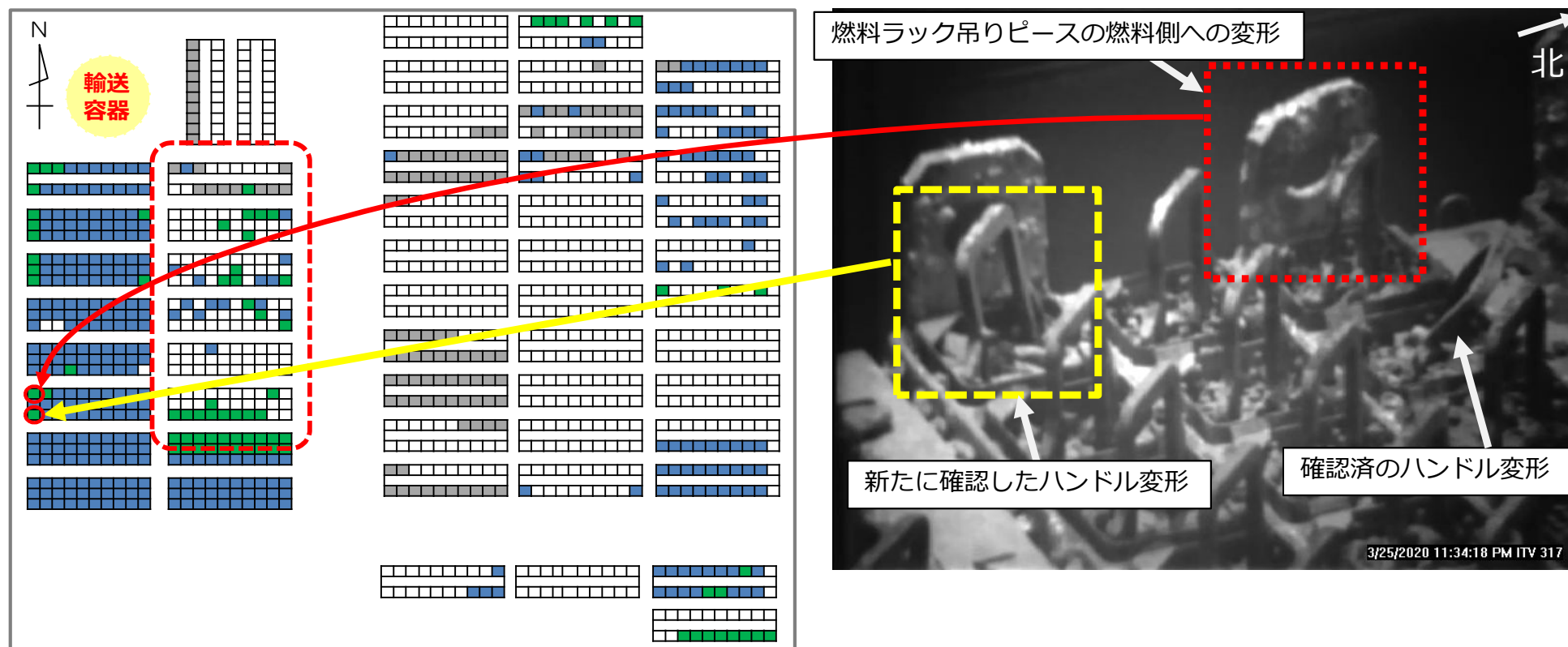
※2020年2月27日 廃炉・汚染水対策チーム会合 事務局会議



凡例：

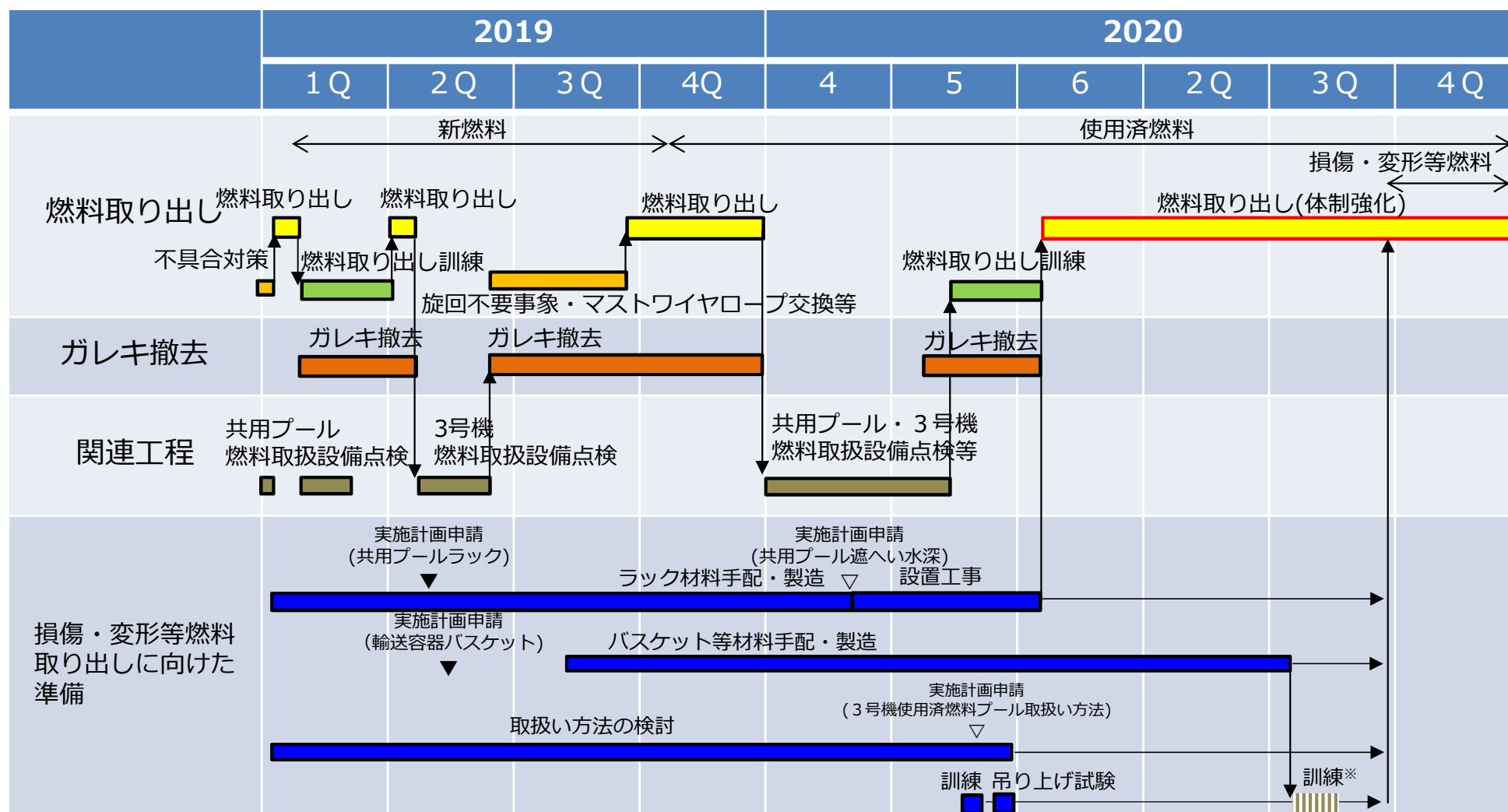
- : 燃料取り出し済
- : ガレキ撤去完了=燃料取り出しが可能な状態
- : ガレキ撤去中
- : ガレキ撤去未実施
- : 燃料が入っていないラック
- : 落下した燃料交換機, コンクリートハッチがあったエリア

- 2020年3月25日、治具により燃料健全性確認作業を行っていたところ、新たなハンドル変形燃料ならびに燃料ラック吊りピースの変形を確認。
 - 新たにハンドル変形を確認した燃料 1 体を含め、これまでにハンドル変形を確認した総数は15体。
 - 燃料ラックの変形については、吊りピースが燃料側に変形しており燃料取り出し時においてチャンネルボックスと干渉する可能性があるが、外部環境に影響があるような状態ではない。引き続き状況の確認を進め、対応を検討する。

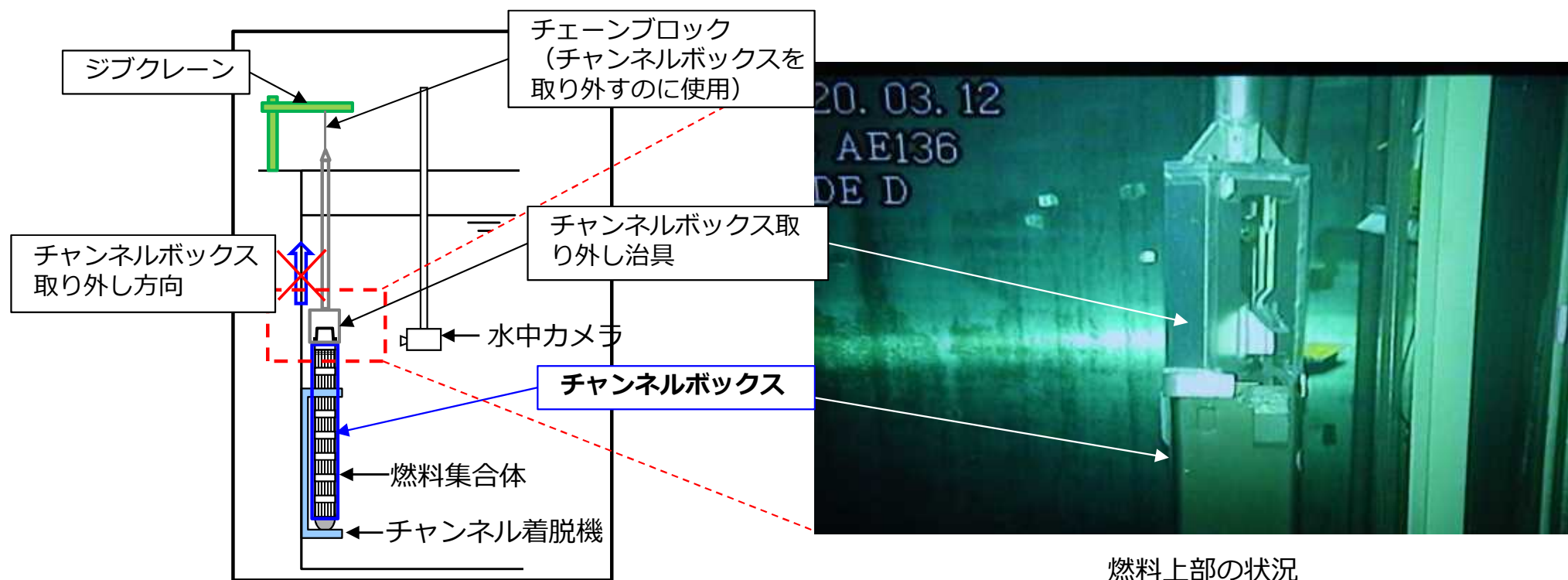


4. 今後の取り出し計画（スケジュール）

- ガレキ撤去を先行で進めたこと、並びにガレキ撤去完了後に体制を強化することにより、2020年度末に燃料取り出し完了の見込み。
- 2020年3月より共用プールや3号機の燃料取扱設備点検等を行い、2020年6月より燃料取出しを再開する予定。



- 3号機から取り出した燃料は、将来的な乾式保管や輸送等の取扱いに対する影響評価のため、外観点検により燃料の状態を確認する。
- 新燃料1体の外観点検のため、2020年3月12日にチャンネルボックスを取り外そうとしたところ、規定荷重※で取り外せなかったため、外観点検を実施できなかった。
- 小ガレキの干渉が想定され、燃料の外観点検方法について改めて検討する。



チャンネルボックス取り外し作業状況

※約40kg。燃料集合体は原子炉での照射により曲り等の変形が発生し、チャンネルボックスが取り外しにくくなるため、チャンネルボックスを安全に取り外すために定めた基準。今回の新燃料の点検でも準用している。